

生活者

生活と政治をつなぐ情報紙

通信

No.342
2020.3.1

東京・生活者ネットワーク

発行 東京・生活者ネットワーク
〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-19-13 ASK ビル4・5階
TEL.03-3200-9189 FAX.03-3200-9274
Eメール tokyo@seikatsusha.net
URL https://www.seikatsusha.net
発行責任者 西崎光子
定価 年間1000円・1部100円 郵便振替口座 00130-3-18417
毎月1回1日発行 1994年5月23日第三種郵便物認可

生活者ネットワーク3つのルール

1

議員は交代制(ローテーション)

生活者ネットワークの議員は、最長でも3期12年で交代します。議員を職業化・特権化せず、世代交代を進めることで参加の層を広げます。任期を終えた議員は、市民政治を広げるための活動や地域活動などに、その経験を活かします。

2

議員報酬は市民の政治活動資金に

生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。議員報酬は、市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開し、政治資金の透明化をはかっています。

3

選挙はカンパとボランティアで

選挙は、政治に参加する入り口です。みんなでカンパ(金)と知恵や労力(ボランティア)を出し合い、選挙を行います。

都議会ネット

■東京都ひとり親家庭自立支援計画(第4期)策定、東京都子供・子育て支援総合計画(第2期)策定、東京都社会的養育推進計画策定、東京都気候変動適応計画策定。

地域ネット

江戸川ネット

第4回江戸川防災勉強会「台風19号の水害に学ぶ～大規模広域災害の時代に求められる対策とは」
3月15日(日) 14:00～16:00 タワーホール船堀2階・福寿(船堀駅) 講師:嶋津暉之(水源開発問題全国連絡会共同代表) / 石崎勝義(元建設省土木研究所次長) 500円
主催:江戸川防災勉強会 03-5607-5975

大田ネット

OTA 未来カフェ「選挙管理委員の仕事って」
3月28日(土) 14:00～16:00 大田・生活者ネットワーク事務所(JR蒲田駅) 03-6424-7561

杉並ネット

HPV(子宮頸がん)ワクチン副反応問題を知る
3月29日(日) 10:30～12:30 阿佐谷地域区民センター第6集会室(阿佐ヶ谷駅) 主催:運動グループ地域協議会 03-5377-1070

西東京ネット

映画「シード～生命の糧」
3月29日(日) ①13:15～14:50 ②15:00～16:35 バスレル保谷(保谷駅) 1000円、子ども・学生500円 042-453-4121

武蔵野ネット

子ども学校もやもやカフェ
3月30日(月) 17:00～20:00 / 4月4日(土) 11:00～16:00 / 18:00～20:00 武蔵野・生活者ネットワーク事務所(武蔵野市中町3-11-13-102 / 三鷹駅) 0422-36-3767

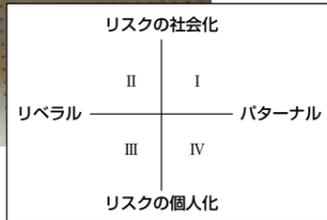
江戸川ネット

設立30周年集会
4月12日(日) 13:00～16:00 タワーホール船堀・瑞雲(船堀駅) 基調講演:大山礼子(駒澤大学法学部教授) 03-5607-5975

生活者ネットワークは東京都内34の自治体にあり、都議1人、市・区議41人の女性議員とともにそれぞれの地域課題に取り組むと同時に、市や区をこえた「東京問題」には全体で取り組んでいます。
東京を生活のまち、安心・共生・自治のまちにするために発言を続けます。



自民党とは何か、野党のとるべき立場とは。私たちはなにを選択するべきか。東京・生活者ネットワーク新春の集い第1部基調講演で政治の今を語る中島岳志さん(東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授。専攻は近代日本政治思想など)。2020年1月30日、西新宿



「熟議」と「闘技」のラディカルデモクラシーを前へ
今、IIのために必要なのはラディカルデモクラシー、熟議と闘技だ。人々の政治的無関心は、新

自由主義によってマーケットが決定をなすようになり、政治の領域が縮小されたことによる。だからタウンシップへの直接的コミットによる熟議と、明確に境界線をひいて情動を喚起する闘技が必要になる。

山本太郎は闘技デモクラシーを見せつけることをとった。市民運動の声は、山本になげなした2000円をカンパする層に届いていなかった。彼は預貯金ゼロの3割に向かい合い、その声を聞き肉体化して話す。これは尊敬に値する。

有権者の5割は投票に行かない。ここに働きかける。正しさを主張するのではなく相手の意見を聞く。自分は間違っているかも、を前提に考え覚悟をもって政治に臨むことだ。自分は正しいという姿勢では合意形成はうまくない。

Reform to Conserve(保守するために改革せよ)とはエドモンド・パークの言葉だが、「大切なものを抱きしめるのではなく、大切なものを守るために変わる」、これがリベラルな保守でありIIの立場だ。生活者ネットワークにはがんばってほしい。

熟議はネットの得意とするところ。では闘技はどうか。ネットの持続可能性は目の前の人に届く肉体化された言葉にあることを受け止めたいと思う。

西東京生活者ネットワーク代表 武田 幸

「価値」と「リスク」のマトリクスから政治を読み解く
中島さんは、まず政治状況をマトリクスで示した。縦軸にリスクの個人化(自己責任、小さな政府)／社会化(セーフティネット、

社民主義)、横軸にリベラル(寛容、多様性、互いを認め合う)／

パターナル(上が決めて下に介入する)。左派／右派という単純対

中島岳志さんに聞く

生活者ネットは、生活者に届く言葉を発信しているか リベラル保守という可能性

東京・生活者ネットワークは1月30日、「2020年新春の集い」を催した。第一部では、中島岳志東京工業大学教授による「リベラル保守という可能性」と銘打った講演が行われた。「リベラル」は「保守」とどうむすびつづけるのか。

望ましいのはIIで、これを担うのがリベラル保守だ。希望の党はIVの小池と組んで失敗した。斜めと組んではIIの意味が無化するからだ。対して立憲民主党は「リベラルな保守」と打ち出し希望の党の居場所を奪い浮上したが、新たな物語を紡ぐことができず残念ながら永田町の論理に埋もれてしまった。

望ましいのはIIで、これを担うのがリベラル保守だ。希望の党はIVの小池と組んで失敗した。斜めと組んではIIの意味が無化するからだ。対して立憲民主党は「リベラルな保守」と打ち出し希望の党の居場所を奪い浮上したが、新たな物語を紡ぐことができず残念ながら永田町の論理に埋もれてしまった。

望ましいのはIIで、これを担うのがリベラル保守だ。希望の党はIVの小池と組んで失敗した。斜めと組んではIIの意味が無化するからだ。対して立憲民主党は「リベラルな保守」と打ち出し希望の党の居場所を奪い浮上したが、新たな物語を紡ぐことができず残念ながら永田町の論理に埋もれてしまった。

望ましいのはIIで、これを担うのがリベラル保守だ。希望の党はIVの小池と組んで失敗した。斜めと組んではIIの意味が無化するからだ。対して立憲民主党は「リベラルな保守」と打ち出し希望の党の居場所を奪い浮上したが、新たな物語を紡ぐことができず残念ながら永田町の論理に埋もれてしまった。

国民投票法改正案は疑問だらけ

”国民投票法改正”
国会は議論不足を恥じよ!

自民、公明、維新、希望の4党が2018年6月に提出した国民投票法改正案が成立するかどうか、通常国会の焦点の一つとされています。この自公維希案は、2016年公職選挙法改正の内容(期日前投票の事由の追加、共通投票所の設置、洋上投票の対象拡大など)を、国民投票法にも盛り込むことが目的です。いずれも、すでに選挙において有権者がその便利さを楽しんでいる項目であり、国民投票でも認めることに異論を挟む余地はありません。

しかし、自公維希案は内容的に不十分で、役に立ちません。第一に、法案提出が2018年6月であるために、2019年公職選挙法改正の内容を反映していません。この2019年改正は、①悪天候時の離島における開票手続の整備、②投票管理者・立会人の選任要件の緩和——といった選挙実務に関する内容ですが、国民投票制度でも不足なく補う必要があります。①②が未整備では、国民投票を正常に執行できません。自公維希案はすでに陳腐化しており、このまま成立させても無意味なのです。いったん撤回し、①②を含めた内容で再提出するか、①②を実現するための国民投票法改正を別に行う必要があります。

第二に、任意の課題ですが、国民投票運動期間中のCM規制、運動費用の規制と収支の公開に関する定めがありません。2018年以降、テレビ、ラジオのCMについては、民放連が「考査ガイドライン」を策定して一応の決着をみましたが、ネット上のCMについてはGoogle、Twitter、Facebook、Youtubeなど事業者の取り組みに委ねられており、本番国民

投票の状況(混乱)は蓋を開けてみないと分かりません。並行して、フェイクニュース対策も課題となります。さらに、賛否の勧誘運動のために用いられる資金の多寡が投票結果に影響するとの懸念もあり、その「上限額」の設定を求める意見も根強くあります。また、国民投票には収支報告の制度がないので、出処不明の多額の資金が特定の国民投票運動に費やされ、公正さが害される状況が生じて、事後的に検証する術がありません。選挙並みの収支報告制度を導入すべきかどうか、大局的な検討が不可欠です。

安倍総理は、自公維希案を早期に成立させて、自衛隊の明記など憲法改正の中身の議論へと進みたい願望を抱いています。しかし、国民投票制度の全体を俯瞰すれば、法律上、運用上の不備が山積し、およそ中身の議論に進める状況ではありません。そもそも国会は、国民投票法の改正問題を軽く考えすぎています。何より、この数年間の議論不足を恥じるべきです。

南部 義典 シンクタンク「国民投票広報機構」代表



憲法改正、中身の議論に入る前に、「真つ当な投票ルール」こそを決めなきゃ!と発信する、国民投票法の第一人者、南部義典さん



Information

辺野古に新基地は作れない! それでも湯水のように税金をつぎ込む日本政府の思惑は

3月14日(土) 19:00~20:00 渋谷勤労福祉会館・第2洋室(渋谷駅) 講演:安次富浩 500円 沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック 090-3910-4140

さようなら原発全国集会

3月20日(金・休) 11:00~15:10 デモ出発 亀戸中央公園(亀戸水神社) さようなら原発一千万署名市民の会 03-5289-8224

国際シンポジウム・世界が告発するフクシマの現状—東京五輪で消されゆく原発事故被害

3月21日(土) 12:30~16:40 田町交通会館6階ホール(田町駅) 登壇:堀切さとみ、村田弘、今野寿美雄、鶴沼久江、上前万由子、アンドレアス・シングレー、コリン・コバヤシ、片山夏子 1000円 さようなら原発1000万人アクション 03-5289-8224

アースデイ50周年 LOVE & PEACE パレード

4月12日(日) 14:00スタート 集合13:00 国連大学前(表参道駅) 参加費カンパ:100円以上 実行委員会 080-3558-3369 (安在)

被害にあった直後の混乱の中、でも日常生活は続く。家事や育児、介護などの生活支援が必要となり、住んでいる地域の支援との連携が欠かせない。精神

東京都総合相談窓口では、電話相談、面接相談、精神的支援(精神科医等によるカウンセリング)、直接支援(自宅訪問、病院や裁判所等への付添い)、一時居所の提供を行っているが、十分ではない。

地域連携が重要 東京都総合相談窓口では、電話相談、面接相談、精神的支援(精神科医等によるカウンセリング)、直接支援(自宅訪問、病院や裁判所等への付添い)、一時居所の提供を行っているが、十分ではない。

行政機関や被害者団体による相談窓口や支援制度の認知度は2割にも満たず、そもそも支援にたどり着けない被害者が支援に速やかにつながるためにも、条例の制定は必要だ。広く周知を図っていく。

「犯罪被害者」という言葉を聞いても、おそらく多くの人は、自分には関係ない、他人事と思ってしまう。だが、現実には過酷で理不尽だ。あおり運転、特殊詐欺、登戸スクールバス殺傷事件など、私たちは突然犯罪に巻き込まれ、一瞬にして深い悲しみと怒りに襲われ、日常も人生も一変する。なのに、被害者への支援は乏しい。

「犯罪被害者」という言葉を聞いても、おそらく多くの人は、自分には関係ない、他人事と思ってしまう。だが、現実には過酷で理不尽だ。あおり運転、特殊詐欺、登戸スクールバス殺傷事件など、私たちは突然犯罪に巻き込まれ、一瞬にして深い悲しみと怒りに襲われ、日常も人生も一変する。なのに、被害者への支援は乏しい。

「犯罪被害者」という言葉を聞いても、おそらく多くの人は、自分には関係ない、他人事と思ってしまう。だが、現実には過酷で理不尽だ。あおり運転、特殊詐欺、登戸スクールバス殺傷事件など、私たちは突然犯罪に巻き込まれ、一瞬にして深い悲しみと怒りに襲われ、日常も人生も一変する。なのに、被害者への支援は乏しい。

「犯罪被害者」という言葉を聞いても、おそらく多くの人は、自分には関係ない、他人事と思ってしまう。だが、現実には過酷で理不尽だ。あおり運転、特殊詐欺、登戸スクールバス殺傷事件など、私たちは突然犯罪に巻き込まれ、一瞬にして深い悲しみと怒りに襲われ、日常も人生も一変する。なのに、被害者への支援は乏しい。

「犯罪被害者」という言葉を聞いても、おそらく多くの人は、自分には関係ない、他人事と思ってしまう。だが、現実には過酷で理不尽だ。あおり運転、特殊詐欺、登戸スクールバス殺傷事件など、私たちは突然犯罪に巻き込まれ、一瞬にして深い悲しみと怒りに襲われ、日常も人生も一変する。なのに、被害者への支援は乏しい。

「犯罪被害者」という言葉を聞いても、おそらく多くの人は、自分には関係ない、他人事と思ってしまう。だが、現実には過酷で理不尽だ。あおり運転、特殊詐欺、登戸スクールバス殺傷事件など、私たちは突然犯罪に巻き込まれ、一瞬にして深い悲しみと怒りに襲われ、日常も人生も一変する。なのに、被害者への支援は乏しい。

「犯罪被害者」という言葉を聞いても、おそらく多くの人は、自分には関係ない、他人事と思ってしまう。だが、現実には過酷で理不尽だ。あおり運転、特殊詐欺、登戸スクールバス殺傷事件など、私たちは突然犯罪に巻き込まれ、一瞬にして深い悲しみと怒りに襲われ、日常も人生も一変する。なのに、被害者への支援は乏しい。

「犯罪被害者」という言葉を聞いても、おそらく多くの人は、自分には関係ない、他人事と思ってしまう。だが、現実には過酷で理不尽だ。あおり運転、特殊詐欺、登戸スクールバス殺傷事件など、私たちは突然犯罪に巻き込まれ、一瞬にして深い悲しみと怒りに襲われ、日常も人生も一変する。なのに、被害者への支援は乏しい。

都議会REPORT



犯罪被害者等支援条例制定へ 被害者の尊厳と権利を守り支援の質を保証するために

東京・生活者ネットワーク都議会議員 山内れい子 [国立市・国分寺市]

都議会第1回定例会に犯罪被害者等支援条例案が提出されている。これまで、東京都は犯罪被害者等支援計画に基づき支援を実施してきたが、被害者や支援団体からは、被害者の権利の保障、支援の質の拡充のため、計画の根拠となる条例の制定が求められていた。他道府県で条例制定が進むなか、東京都は遅れを取っていた。生活者ネットワークは、長年にわたり条例制定を働きかけてきた。2012年に条例案が議員提案されたが、自民党、公明党の反対で否決。今議会で、ようやく実現する。

性的な支援は長期的な視点が必要だ。条例制定後は、支援の具体化と質の拡充のため、地域連携や、民間支援団体等への財源確保、専門人材の確保を求めていく。経済的支援については、被害によって転居せざるを得なくなった場合の引っ越し費用最大20万円、弁護士相談費用最大1万5000円、見舞金の給付等が予算化される予定だ。性犯罪被害者の撲滅を伊藤詩織さんに寄せて 心身に傷を負った被害者が地域で孤立してしまうことは少なくない。被害者に対する偏見や差別、理解のない言動が二次被害を与える。性犯罪被害の場合は顕著だ。日本は性犯罪・性暴力に対する認識が遅れている。加害者を責めずに、被害者を責める。犯罪の立証は難しく、訴える勇気にすら世間は後ろ向きで、二次被害を生んでいる。昨年12月、東京地裁で、伊藤詩織さんが勝訴した。性犯罪の撲滅、二次被害防止は喫緊の課題だ。引き続き取り組んでいく。

ポレ・サヴィアーノ写真展 Embrace トランスジェンダーのこどもたち 2020年4月1日(水)~5月31日(日) 12:00~18:00 (火曜休廊。最終日は17:00まで。5/16、17は浅草神社三社祭のため閉廊) 会場 | ギャラリーエフ 東京都台東区雷門2-19-18 | 入場無料 トークイベント 4月5日(日) 14:00~16:00 会場 | 浅草文化観光センター会議室 | 参加費:2000円 ***山内れい子(東京・生活者ネットワーク都議会議員)がゲスト登壇します。 問い合わせ | ギャラリーエフ mail@gallery-ef.com TEL 03-3841-0442 Embrace 概要 Paule Saviano 新プロジェクト | 写真展「Embrace トランスジェンダーのこどもたち」は、数多くのポートレイトを一堂に集めることによって、従来の認識とは異なるジェンダー・アイデンティティ(トランスジェンダー、インターセックス、ノンバイナリージェンダー)の人々が国、文化、年齢層の枠をこえて、実に多種多様なアイデンティティと体験をもつことを実証する。4月5日に開催されるトークイベントでは、山内れい子都議のゲスト参加が決定。男女平等をこえて、「ジェンダー主流化」社会を展望する。 Paule Saviano New Yorkの写真家 Paule は2007年よりギャラリーエフと共同で広島長崎の被爆者、また東京大空襲の被災者のポートレイトを撮り続けてきた。2019年3月、国立原爆死没者追悼平和祈念館に、ポートレイト15点が永久展示されることになった。

住宅の確保は基本的な人権 国分寺でも居住支援のしくみを! 居住問題は目前にある、まちづくりの大きな課題 国分寺市で昨年の12月14日、市民団体「居住支援を考える国分寺の会」が企画して「住みたい場所で暮らし続ける市民フォーラム」を開催されました。フォーラムでは、まず、松本暢子さん(多摩市住替え・居住支援協議会 会長/大妻女子大学教授)から、2017年の「住宅セーフティネット法」(住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律)の改正で、民間の賃貸住宅を活用して居住を支援する制度が始まり、その基盤として各行政が設立する「居住支援協議会」についてお聞きしました。その後、地域包括支援センター職員や障がい者支援を仕事にされている方々から、「高齢になると階段のな

を多くの方に知ってもらい、行政にも働きかける機会としてフォーラムを開催することになったのです。 居住支援を実現するために「住みたい場所で暮らし続ける市民フォーラム」を開催 フォーラムでは、まず、松本暢子さん(多摩市住替え・居住支援協議会 会長/大妻女子大学教授)から、2017年の「住宅セーフティネット法」(住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律)の改正で、民間の賃貸住宅を活用して居住を支援する制度が始まり、その基盤として各行政が設立する「居住支援協議会」についてお聞きしました。その後、地域包括支援センター職員や障がい者支援を仕事にされている方々から、「高齢になると階段のな



市民団体「居住支援を考える国分寺の会」が企画・開催した市民フォーラムで問題提起するシンポジストら。2019年12月14日

都政 NOW 区市とつなぐ

編集後記/生活者ネットのメンバーも参加する、都心を通る羽田新飛行ルートに反対する住民グループ:羽田問題解決プロジェクト(代表:大村宛さん)と、元日航機長の杉江弘さんが2月13日、外国特派員協会にて記者会見。続く19日には、ところを国会院内に変えて国会議員らが主催する院内集いで、実機飛行確認後の国交省担当官らと意見交換した。騒音軽減のためとし急降下を強行する対策について杉江さんは、戻り事故を起こしかねない、羽田は世界一着陸が難しい空港になると指摘。市民らは、実機飛行結果を速やかに公開し、改めて住民との対話を行うべき、3月29日からの本格導入はあり得ないと見直しを求めた。1月20日には、これら問題を裏付けるIFALPA(各国に存在する航空機操縦士協会の国際組織:1948年~)の声明「New Approaches for Haneda」が公表された。降下角度3.5度へ変更する計画決定がいかに危険か、さらに気温40度を記録する夏場の羽田の空港環境(降下角度~3.8度を余儀なくされる)を危険視、「羽田が世界一危険な空港になる」と折り紙を付けたかたちだ。新ルートは撤回しかない。(加藤)